

6月定例会終わる

6月7日から17日までの11日間の日程で開きました。

4月、突然の地震に見舞われ、甚大な被害を受けた熊本・大分両県の皆様をはじめ、関係された方々にお見舞い申し上げます。

全国には調査されていない活断層が無数に存在し、本町もいつこのような災害に見舞われるかわかりません。このような中、飯南町防災行政無線が整備されることになり、屋外スピーカーを通して、情報伝達が改善されるということです。

また、琴引スキー場へ人工降雪機が導入されます。現有の製氷機への負荷を軽減し、15年の運用を図るとされています。このスキー場は、昨シーズンを除き、3万人以上の来場者があり、冬季間の雇用で町内に貢献しています。

雲南市掛合町にあるJA共同選果場が、老朽化で稼働困難になっていたことから、町内に共同選果場を新設することになりました。JA赤来経済センター内に設置されます。

メロンのほかパプリカやトマトも同じラインで選果が可能で、共選出荷による付加価値の増加や戦略作物の増産と品質向上が期待されます。

議員提出議案

参議院選挙制度に対する意見書

平成28年の参議院通常選挙において、初めて合区(島根県と鳥取県、徳島県と高知県)とされ、実施されようとしている。十分な議論もなく、47道府県の一部にのみ合区を行うことは地方を軽視するものと言わざるを得ない。

一票の格差是正のみに捉われ、都道府県の枠組みを考慮せず合区して定数を算定したことは、国民主権を保障している選挙制度において、なし崩し的に国の在り方を変えることにつながる。また、政府が進める地方創生に逆行する。

国においては、地方からの視点が欠落した選挙制度改正を再度見直し、たとえ人口が少ない県であっても、代表者が確実に参議院議員に選出されるような、参議院の在り方を含めた抜本的な制度改革を行うよう強く要請し、以下の事項について要望する。

- 1、人口格差のみに捉われず各都道府県に議員を選出する制度を構築すること。
- 2、制度改正において合区を決して行わないこと。
- 3、1及び2の事項を念頭に置いて、二院制の在り方や参議院の果たすべき役割を十分に認識したうえで、必要な見直しを行うこと。

可決された主な議案

■条例関係

飯南町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定など5件

■承認

平成27年度飯南町一般会計補正予算(第9号)など3件

■補正予算

平成28年度飯南町一般会計補正予算(第1号)など4件

■諸議案

- ・平成28年度飯南町防災行政無線整備工事請負契約の締結など4件
- ・公の施設(頓原ラムネ銀泉)の指定管理者の指定など3件

■報告

飯南町一般会計及び飯南町簡易水道事業特別会計繰越明許費の報告など2件

陳情

畑田東水路の改修についての陳情

〔陳情者〕

飯南町畑田68番地

代表 畑田自治会長

朽木博文

〔審査委員会〕 教育経済常任委員会
〔審査結果〕 継続審査

【平成28年度 一般会計補正予算】

健康増進施設(ラムネ銀泉)の指定管理料・農作物鳥獣被害防止事業・共同選果場整備支援・琴引スキー場設備費など

2億4392万円増額

各会計	補正予算額	予算総額
一般会計	2億4392万円	79億7307万円
特別会計	簡易水道事業	9万円
	下水道事業	7万円
	介護保険サービス事業	47万円